

ウルティモ

ULTIMO

一般名称		特殊変性エポキシ樹脂塗料				
適用規格		—				
系統		弱溶剤可溶厚膜形変性エポキシ樹脂系さび止め塗料				
主な用途		【電力・プラント用】		【海洋鋼構造物用】		など
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート	
	○	×	×	×	×	
特長		1) 結露面に塗装することができる。 2) 刷毛塗作業性に優れ、厚塗りすることができる。 3) 湿潤した劣化旧塗膜やさび面への浸透・硬化性に優れる。 4) 弱溶剤可溶形で臭気が少なく、作業環境に優れる。				
塗料性状	塗料密度(比重)	1. 35(ライトグレー)				
	溶剤密度(比重)	0. 85(ライトグレー)				
	加熱残分	74%				
法令など	ベース		硬化剤			
	劇物表示 (品名・含有率)		SDSをご参照ください			
	労安法上の 表示有害物		SDSをご参照ください			
	使用有機 溶剤種別		SDSをご参照ください			
	消防法による 危険物区分		可燃性液体類		第2石油類(非水溶性)	
	硬化剤の成分 による区分		変性ポリアミドアミン			
	ホルムアルデヒド 放散等級		—			
	製品情報		ベース		硬化剤	
	荷姿	18kgセット 4kgセット	15kg 3. 33kg	3kg 0. 67kg		
	混合比(重量比)		ベース:硬化剤=5 : 1			
主な色(色相)		N-8. 5近似(明度8. 5以下の淡彩色に調色可能)				
素地調整		○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。				
使用方法	調合方法	ベースと硬化剤を規定どおりの割合でよく混合し、下記のシンナーを規定内で混入し、十分攪拌したのち使用する。				
	熟成時間	不要	※規格に規定があるものは、それに準拠してください。			
	使用シンナー	ウルティモシンナー(専用品)				
	希釈率(重量比)	ハケ・ローラー: 0~3wt%				
	エアレススプレー 塗装条件					

ウルティモ

ULTIMO

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/㎡/回
エアレススプレー塗り	—	—	—
ハケ・ローラー塗り	250	450	760

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		0℃	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
乾燥時間	指触	—	4時間	3時間	2時間	30分	15分
	半硬化	—	16時間	12時間	6時間	3時間	3時間
標準塗装間隔 注)	最短	—	24時間	16時間	8時間	6時間	5時間
	最長	—	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月
可使時間		—	5時間	4時間	3時間	2時間	1時間

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温および被塗物温度5℃以下

主な適用 下塗塗料	強溶剤:	—
	弱溶剤:	—
	ハイソリット:	—
	水性:	—
主な適用 上塗塗料	強溶剤:	—
	弱溶剤:	ウルティモ
	ハイソリット:	—
	水性:	—

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用、長時間 100℃耐用
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)施工管理
用特数値

希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
0	58.8	1.7
3	56.2	1.8

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報

- 安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
- 塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件

本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管してください。使用上の
注意事項

- 1) 塗装時ならびに塗料取り扱い時は換気を十分行い、火気厳禁とする。
- 2) 被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ)や粉化物などは塗装前に除去してください。
- 3) 浮きさびやルーズな黒皮、旧塗膜面の発錆や塗膜の浮きなどは十分に除去して塗装してください。
- 4) 被塗面を清浄にするため、塗装直前に上水で水洗いしてください。
- 5) 被塗物が凍結している場合、および、塗装直後1週間以内に凍結する恐れがある場合は塗装を避けてください。
- 6) 塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。
- 7) 安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
- 8) 塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。
- 9) 過希釈による膜厚不足及び、タレ性低下には注意して下さい。
- 10) 水中施工は出来ません。